



## 2019年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2018年11月9日

上場会社名 株式会社テノックス

上場取引所 東

コード番号 1905 URL <http://www.tenox.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 佐藤 雅之

問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 迫田 一彦

TEL 03-3455-7758

四半期報告書提出予定日 2018年11月12日

配当支払開始予定日

2018年12月4日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2019年3月期第2四半期の連結業績(2018年4月1日～2018年9月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年3月期第2四半期	11,569	1.2	500	40.3	523	39.1	351	41.2
2018年3月期第2四半期	11,427	27.7	839	105.0	859	98.5	597	78.2

(注) 包括利益 2019年3月期第2四半期 359百万円 (40.5%) 2018年3月期第2四半期 604百万円 (78.3%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2019年3月期第2四半期	50.37	49.57
2018年3月期第2四半期	85.90	84.41

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2019年3月期第2四半期	18,835	11,546	59.8
2018年3月期	17,992	11,393	61.7

(参考) 自己資本 2019年3月期第2四半期 11,269百万円 2018年3月期 11,093百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年3月期		14.00		15.00	29.00
2019年3月期		15.00			
2019年3月期(予想)				15.00	30.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2019年3月期の連結業績予想(2018年4月1日～2019年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	20,000	2.2	900	20.1	950	20.9	700	33.6	100.40

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

## 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料P. 7「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2019年3月期2Q	7,694,080 株	2018年3月期	7,694,080 株
期末自己株式数	2019年3月期2Q	780,372 株	2018年3月期	721,848 株
期中平均株式数(四半期累計)	2019年3月期2Q	6,978,781 株	2018年3月期2Q	6,957,086 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

## 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 2「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	3
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	5
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	5
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	7
(継続企業の前提に関する注記) .....	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用) .....	7
(追加情報) .....	7
3. 補足情報 .....	8
(1) 受注高・売上高・受注残高内訳表 .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、自然災害の影響を受けつつも、堅調な企業収益や所得環境の改善は続き、緩やかな拡大を維持しております。一方で、貿易摩擦や地政学リスクなどから回復基調にある世界経済は、その先行きに影を落とす状況下にあります。

建設業界におきましては、企業収益の改善を背景として民間の設備投資が増加するなど建設投資は総じて底堅く推移しております。しかしながら、良好であった受注環境の変化、建設資材の高騰や技能労働者不足等からくる建設費用の上昇が予想されるなど経営環境に不安が残る状況下にあります。

このような状況のもと、当社グループにおきましては、「施工品質の向上」と「安全管理の強化」を最重要施策と掲げ、人材育成と適正な人員配置による施工体制の強化に取り組んでおります。

当第2四半期連結累計期間の売上高は、鉄道関連の杭工事や民間工場の地盤改良工事を初めとして複数の大型工事が完成したことなどにより115億69百万円（前年同期比1.2%増）となりました。しかしながら、利益につきましては、売上高の増加等による増益要因があったものの、前期に発生した大型の建築基礎工事における施工不具合の復旧に伴う工事関連費用等を計上したことなどで営業利益5億円（前年同期比40.3%減）、経常利益5億23百万円（前年同期比39.1%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益3億51百万円（前年同期比41.2%減）となりました。なお、この施工不具合に関連する費用等は、その想定額を期初計画に取り込んでおり、業績は概ね期初計画通りに進捗しております。

### (2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末の資産合計は、前連結会計年度末に比べ8億43百万円増加し、188億35百万円となりました。これは主に現金預金が9億49百万円減少したものの、電子記録債権が13億86百万円、受取手形・完成工事未収入金等が2億98百万円増加したことによるものであります。

負債合計は、前連結会計年度末に比べ6億89百万円増加し、72億88百万円となりました。これは主に未払法人税等が1億81百万円減少したものの、支払手形・工事未払金等が10億3百万円増加したことによるものであります。また、純資産合計は、前連結会計年度末に比べ1億53百万円増加し、115億46百万円となりました。これは主に自己株式の取得などに伴い91百万円減少したものの、利益剰余金が2億45百万円増加したことによるものであります。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2019年3月期の連結業績予想につきましては、2018年5月11日に公表いたしました連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2018年9月30日)
<b>資産の部</b>		
<b>流動資産</b>		
現金預金	8,624,057	7,674,768
受取手形・完成工事未収入金等	4,053,751	4,352,105
電子記録債権	844,676	2,231,335
未成工事支出金等	853,639	750,030
未収入金	700,239	892,930
その他	82,941	242,213
貸倒引当金	△19,170	△34,105
流動資産合計	15,140,135	16,109,277
<b>固定資産</b>		
有形固定資産	2,238,519	2,102,370
無形固定資産	36,860	30,423
<b>投資その他の資産</b>		
その他	595,536	612,144
貸倒引当金	△18,633	△18,555
投資その他の資産合計	576,902	593,589
固定資産合計	2,852,282	2,726,383
資産合計	17,992,418	18,835,661

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2018年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形・工事未払金等	3,874,855	4,878,155
未払法人税等	373,264	192,093
未成工事受入金	223,682	192,568
工事損失引当金	830,000	1,079,500
その他の引当金	94,240	99,945
その他	688,237	338,544
流動負債合計	6,084,280	6,780,807
固定負債		
退職給付に係る負債	445,404	454,923
引当金	25,704	34,338
その他	43,624	18,720
固定負債合計	514,733	507,982
負債合計	6,599,013	7,288,789
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,710,900	1,710,900
資本剰余金	2,387,036	2,397,287
利益剰余金	7,232,635	7,477,978
自己株式	△288,792	△380,723
株主資本合計	11,041,779	11,205,441
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	52,042	64,519
その他の包括利益累計額合計	52,042	64,519
新株予約権	74,446	57,004
非支配株主持分	225,136	219,904
純資産合計	11,393,404	11,546,871
負債純資産合計	17,992,418	18,835,661

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)
売上高	11,427,523	11,569,125
売上原価	9,681,798	10,203,356
売上総利益	1,745,724	1,365,769
販売費及び一般管理費	906,053	864,879
営業利益	839,671	500,889
営業外収益		
受取利息	420	1,190
受取配当金	2,404	2,986
仕入割引	13,590	15,142
物品売却益	1,824	2,013
為替差益	56	—
その他	1,448	2,021
営業外収益合計	19,744	23,353
営業外費用		
支払利息	33	34
売上割引	—	137
為替差損	—	53
自己株式取得費用	—	256
営業外費用合計	33	482
経常利益	859,382	523,760
特別利益		
固定資産売却益	21,904	4,819
特別利益合計	21,904	4,819
特別損失		
固定資産処分損	9	72
投資損失引当金繰入額	7,850	—
貸倒引当金繰入額	—	10,254
特別損失合計	7,859	10,327
税金等調整前四半期純利益	873,427	518,252
法人税等	274,877	171,033
四半期純利益	598,549	347,219
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	906	△4,332
親会社株主に帰属する四半期純利益	597,643	351,551

(四半期連結包括利益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)
四半期純利益	598,549	347,219
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	6,118	12,477
その他の包括利益合計	6,118	12,477
四半期包括利益	604,667	359,697
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	603,761	364,029
非支配株主に係る四半期包括利益	906	△4,332

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(追加情報)

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 2018年2月16日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。

3. 補足情報

(1) 受注高・売上高・受注残高内訳表

前第2四半期連結累計期間(自2017年4月1日 至2017年9月30日)

①受注高・受注残高

セグメントの名称	受注高(千円)	受注残高(千円)
建設事業	10,894,879	6,010,252
土木建築コンサルティング全般等事業	—	—
その他の事業	—	—
合計	10,894,879	6,010,252

(注)当連結企業集団では土木建築コンサルティング全般等事業及びその他の事業は受注生産を行っておりませんので、同事業については受注高及び受注残高の記載を省略しております。

②売上高

セグメントの名称	金額(千円)
建設事業	11,237,374
土木建築コンサルティング全般等事業	184,932
その他の事業	5,216
合計	11,427,523

当第2四半期連結累計期間(自2018年4月1日 至2018年9月30日)

①受注高・受注残高

セグメントの名称	受注高(千円)	受注残高(千円)
建設事業	12,530,526	7,797,887
土木建築コンサルティング全般等事業	—	—
その他の事業	—	—
合計	12,530,526	7,797,887

(注)当連結企業集団では土木建築コンサルティング全般等事業及びその他の事業は受注生産を行っておりませんので、同事業については受注高及び受注残高の記載を省略しております。

②売上高

セグメントの名称	金額(千円)
建設事業	11,467,766
土木建築コンサルティング全般等事業	101,324
その他の事業	34
合計	11,569,125